

# 景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 25 年 12 月

小 松 商 工 会 議 所

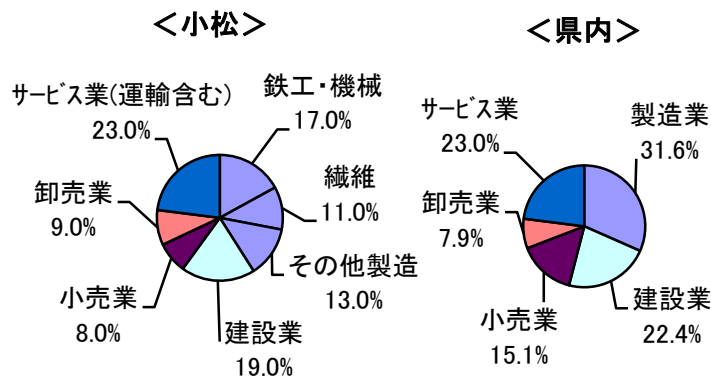
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 225社

回収率 100企業 (回収率 44.4%)

業種	小松	県内
鉄工・機械	17	165
繊維	11	
その他製造	13	
建設業	19	117
小売業	8	79
卸売業	9	41
サービス業(運輸含む)	23	120
合計	100	522



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 ……DI (デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数  
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期……平成 25 年度第 2 四半期(平成 25 年 7 月～9 月)

今 期……平成 25 年度第 3 四半期(平成 25 年 10 月～12 月、但し 12 月は見込み)

来 期……平成 25 年度第 4 四半期(平成 26 年 1 月～3 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高……………DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益)…DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	7	2	3	1	2	3	8	5	0	0	2	1	3	4
不 変	3	9	6	7	10	9	8	11	5	5	4	6	13	10
悪 化	7	6	2	2	1	1	2	2	3	3	3	2	7	8
無回答				1			1	1						1
総 計	17		11		13		19		8		9		23	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

上昇に勢いはないが、底は打っていると判断(製造・好転→好転)
円安により輸入物がストップ、高級品が少し動く様になった(製造・好転→好転)
受注高、引き合い件数の増加(製造・好転→好転)
第4四半期は材料が高くなり、電気料金と合わせて価格転嫁できるか(製造・好転→不変)
消費税 UP 前のかけ込み注文の増加(製造・好転→不変)
当社の売上高の状況により判断(製造・不変→不変)
現在も良くない。先々が見えにくい(製造・不変→不変)
消費税 UP のため、かけ込み需要があり3月まで発注がある(製造・不変→不変)
先行き不透明感が、改善されるような期待が持てないため(製造・不変→不変)
建設機械の排ガス規制強化の猶予期間が今年で終了、かけ込み需要の反動と、資源価格の下落による、鉱山向け建設機械の販売が低調と予想される(製造・悪化→不変)
大型商品の受注減少(製造・悪化→悪化)
自動車部品の加工受注減に加え、建設機械部品も受注減となる見込み(製造・悪化→悪化)
アベノミクス効果が小・零細企業に表れてこない(製造・悪化→悪化)
冬期は降雪のため、工事遅延が予想され、出荷減少となる(製造・悪化→悪化)
東北復興需要及び公共事業投資拡大による(建設・好転→好転)
仕事量の増加(建設・好転→不変)
前期に受注した物件を着工した。冬期で工期通り出来るか?(建設・好転→悪化)
試算表に基づいて前期と比較した結果(建設・不変→不変)
単価が安いので、収益が少ない(建設・不変→不変)
消費税増税前につき(建設・不変→不変)
消費税と価格競争(建設・悪化→悪化)
期末のかけ込み的受注があるが、業者不足による工期の遅れから10月11月12月は手持ち状態。そのためこの期間のロスが大きく、収益を悪化させている(建設・悪化→好転)
売上があっても粗利は低下(小売・不変→不変)
食品業界は、アベノミクスを感じられない(小売・不変→不変)
全体的に景況感はいいが、当社に影響のある建設機械・工作機械業界で明暗が分かれていてもう一つ晴れた感じはない(卸売・好転→不変)
仕入価格の上昇、同業他社との競争激化で、採算性悪化(卸売・悪化→悪化)
夏期間は悪く、冬期間は良い(サービス・好転→好転)
消費税増税前のかけ込み需要の一服感がすでに住宅でみられること(サービス・好転→不変)
地方には中々アベノミクスの実感がない(サービス・好転→悪化)
増税前の一時的なかけ込み需要(サービス・不変→好転)
消費税 UP の駆け込み需要により、第4四半期の景気好転を見込んだため (サービス・不変→好転)
物量を含め荷動き動向が旺盛である(サービス・不変→不変)
取引先情報より判断(サービス・不変→悪化)
自己消費、会社接待なし(サービス・悪化→不変)
当社の場合、原料価格(LNG、LPG)は上昇傾向が続いていて、売上原価が悪化、一方売上単価は値上げ出来ない環境にある(サービス・悪化→悪化)
消費税 UP(サービス・悪化→悪化)
取引先の状況が悪い(サービス・悪化→悪化)

(1)-2 DI値

(単位: DI)

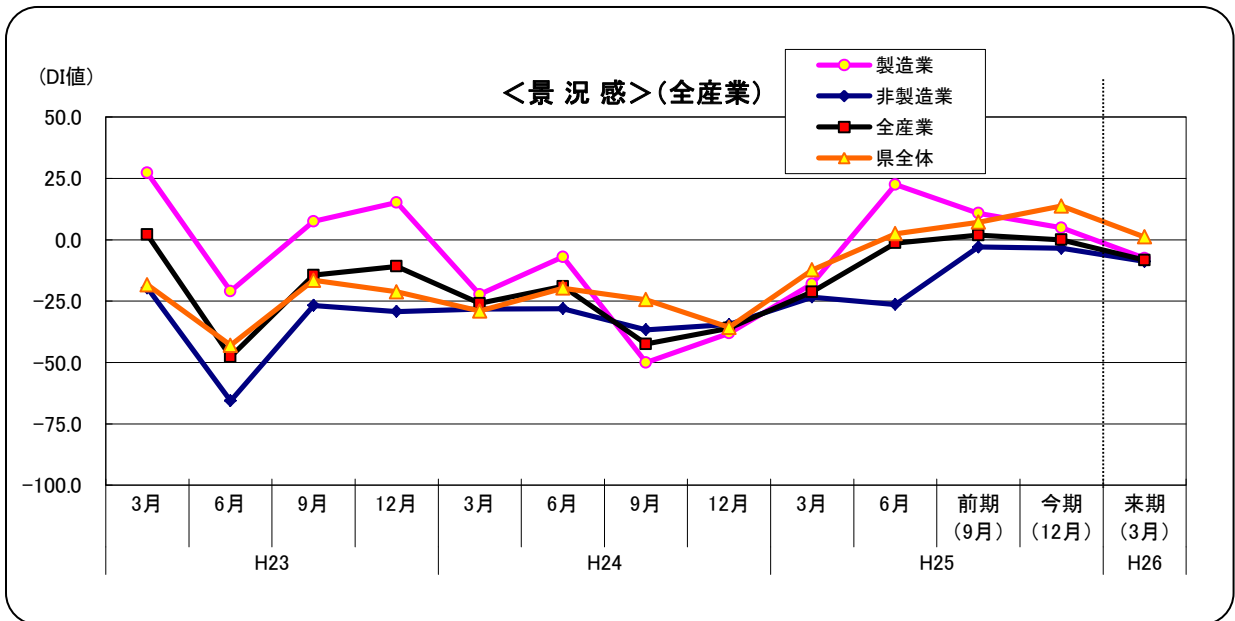
		前 期		今 期		来 期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製 造 業	鉄工・機械	6.7	—	0.0	—	▲ 23.5	—
	繊維	18.2	—	9.1	—	▲ 10.0	—
	その他製造	9.1	—	7.7	—	15.4	—
	製造計	10.8	7.0	4.9	13.2	▲ 7.5	▲ 0.6
非 製 造 業	建設業	9.5	25.7	33.3	26.4	16.7	7.3
	小売業	▲ 12.5	▲ 11.9	▲ 37.5	4.6	▲ 37.5	1.6
	卸売業	0.0	6.3	▲ 11.1	30.4	▲ 11.1	20.5
	サービス業(運輸含む)	▲ 10.0	1.6	▲ 17.4	2.4	▲ 18.2	▲ 9.2
	非製造計	▲ 2.9	7.2	▲ 3.4	14.1	▲ 8.8	2.1
全 体		1.9	7.2	0.0	13.8	▲ 8.2	1.2
改善予測		▲ 13.4	▲ 8.1	▲ 8.2	▲ 12.6	—	—

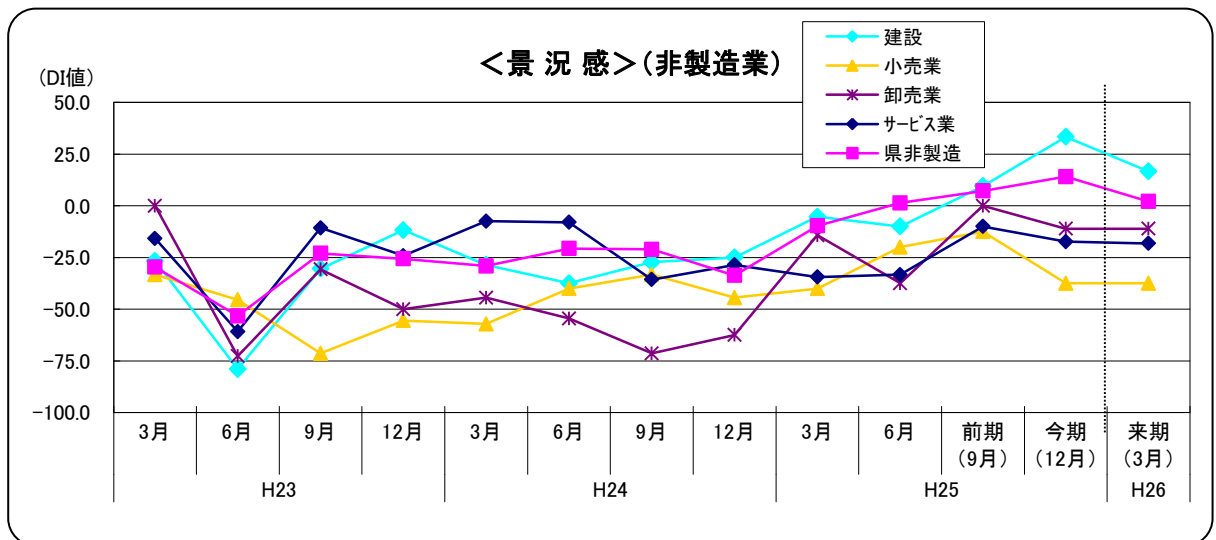
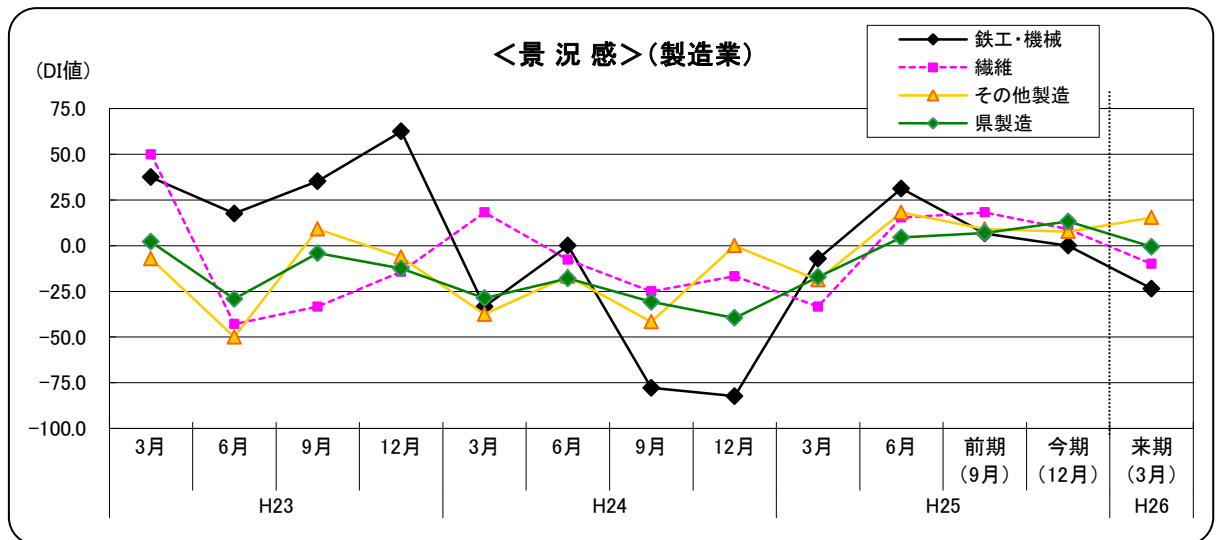
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械では前期 6.7 ポイントだったが、今期は 0.0 ポイントと後退。来期も ▲23.5 ポイントと更に悪化の見通しを示している。繊維においては前期が 18.2 ポイントであったが、今期は 9.1 ポイントと後退、来期が ▲10.0 ポイントと悪化傾向を示している。その他製造業においては、前期から今期にかけて悪化しており来期は回復の見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期 9.5 ポイントから今期 33.3 ポイントと回復傾向にあり、来期が 16.7 ポイントと悪化の予測が伺える。小売については今期 25.0 ポイント悪化、卸売は 11.1 ポイント悪化、サービス業は 7.4 ポイント悪化となっており、総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H25.12)			来期(H26.3)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	4.9	7	6	▲ 7.5	▲ 9	▲ 4	41社
非製造業	▲ 3.4	10	9	▲ 8.8	▲ 4	▲ 7	59社
全体	0.0	9	8	▲ 8.2	▲ 6	▲ 6	100社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2) - (5) 売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(第3四半期)の状況

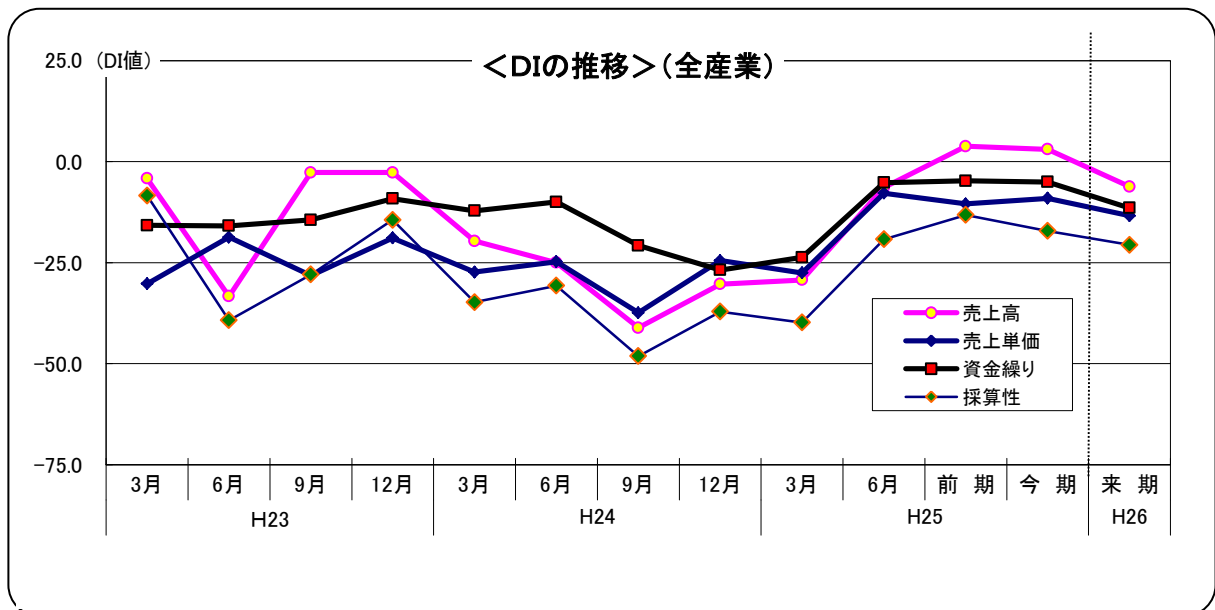
(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	0.0	13.2	▲ 4.9	▲ 8.2	▲ 4.9	▲ 5.0	▲ 9.8	▲ 5.1
建設業	44.4	25.5	▲ 5.6	0.0	5.6	2.7	0.0	▲ 7.3
小売業	▲ 37.5	1.5	▲ 37.5	3.1	▲ 50.0	▲ 7.7	▲ 75.0	▲ 14.1
卸売業	11.1	32.6	22.2	21.7	0.0	4.3	▲ 11.1	8.7
サービス業	▲ 13.0	2.4	▲ 21.7	▲ 6.4	0.0	▲ 4.8	▲ 26.1	▲ 11.8
全体	3.0	13.4	▲ 9.1	▲ 1.8	▲ 5.1	▲ 2.8	▲ 17.2	▲ 7.1

来期(第4四半期)の見通し

(単位:DI)

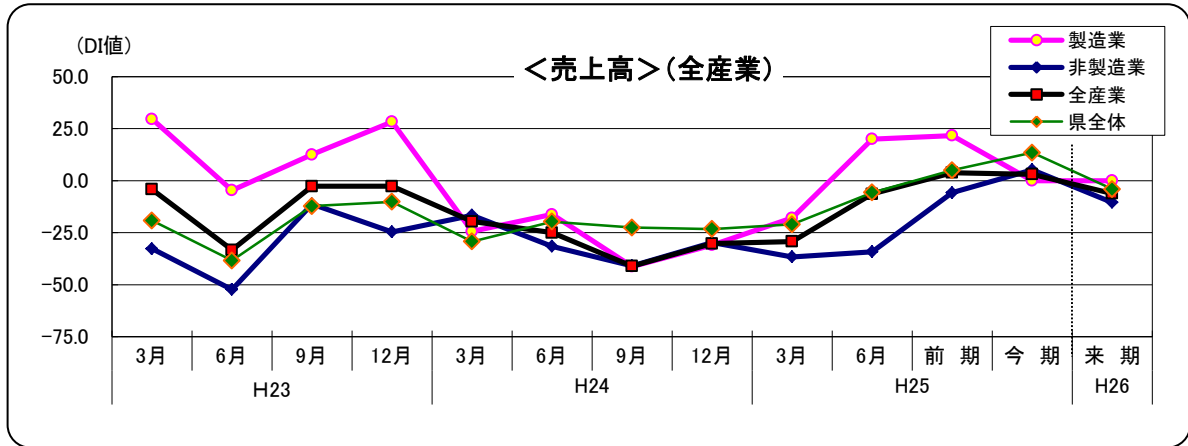
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	0.0	▲ 3.2	▲ 15.0	▲ 10.9	▲ 12.5	▲ 10.3	▲ 17.5	▲ 15.5
建設業	0.0	▲ 1.8	▲ 5.6	▲ 3.7	0.0	▲ 8.3	5.6	▲ 10.1
小売業	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 25.0	1.6	▲ 50.0	▲ 12.5	▲ 75.0	▲ 14.3
卸売業	11.1	6.8	11.1	6.8	0.0	0.0	▲ 22.2	▲ 4.5
サービス業	▲ 22.7	▲ 10.2	▲ 22.7	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 9.4	▲ 27.3	▲ 17.8
全体	▲ 6.2	▲ 4.1	▲ 13.4	▲ 6.1	▲ 11.5	▲ 9.0	▲ 20.6	▲ 13.7
改善予測 (今回)	▲ 9.2	▲ 17.5	▲ 4.3	▲ 4.3	▲ 6.4	▲ 6.2	▲ 3.4	▲ 6.6
改善予測 (H25.9)	▲ 13.4	▲ 4.2	1.8	2.3	▲ 3.0	▲ 2.4	▲ 1.2	0.1
改善予測 (H25.6)	12.8	13.0	▲ 1.3	3.4	2.6	▲ 2.2	15.4	8.1



(2) 売上高

(単位:DI)

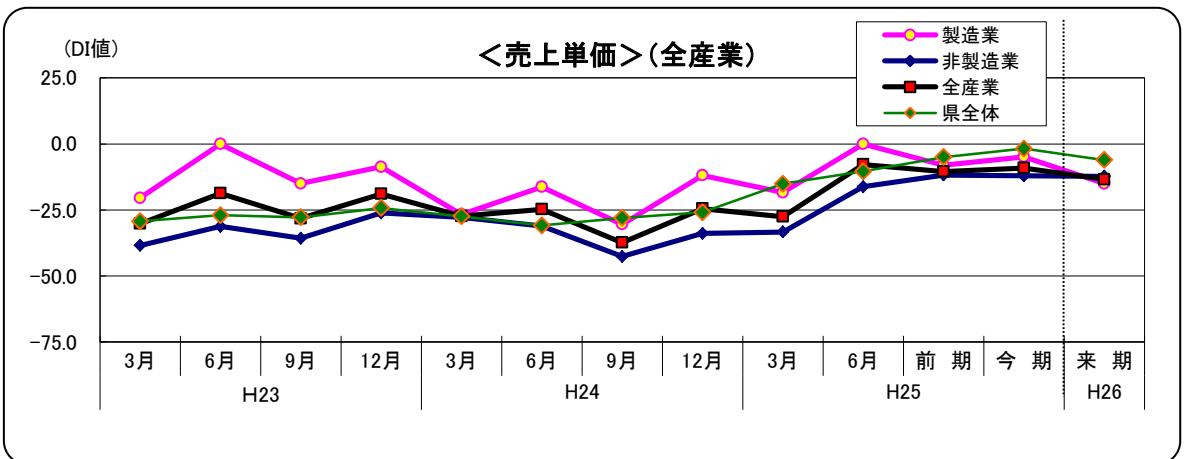
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 23.5	0.0	30.8	0.0	0.0	▲ 25.0	11.1	▲ 22.7	▲ 10.5	▲ 6.2	▲ 4.1
今期	▲ 5.9	27.3	▲ 15.4	0.0	44.4	▲ 37.5	11.1	▲ 13.0	5.2	3.0	13.4
前期	26.7	18.2	18.2	21.6	0.0	▲ 37.5	20.0	▲ 10.0	▲ 5.8	3.8	5.0



(3) 売上単価

(単位:DI)

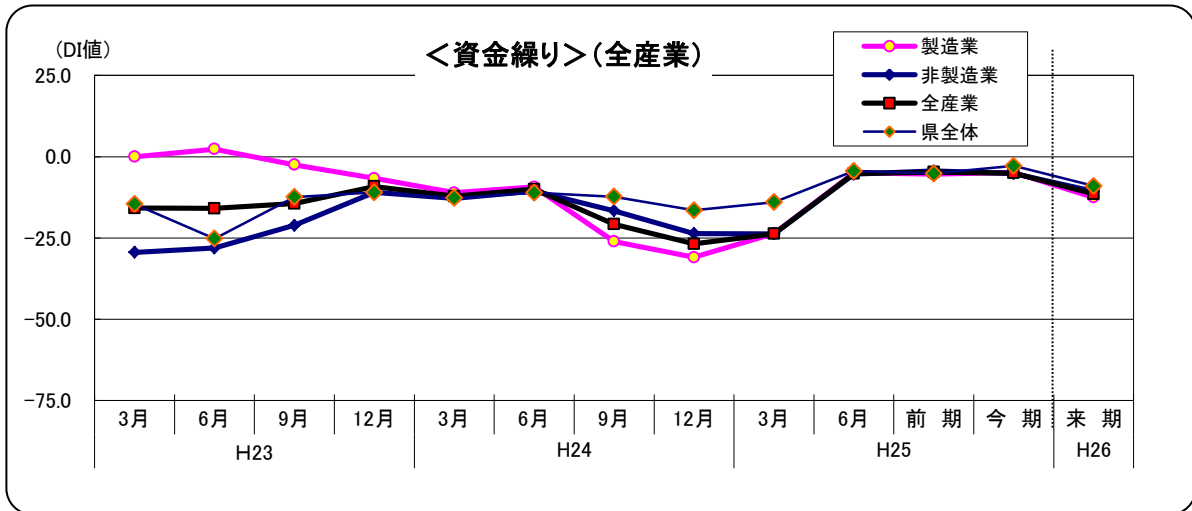
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 5.9	▲ 10.0	▲ 30.8	▲ 15.0	▲ 5.6	▲ 25.0	11.1	▲ 22.7	▲ 12.3	▲ 13.4	▲ 6.1
今期	▲ 5.9	9.1	▲ 15.4	▲ 4.9	▲ 5.6	▲ 37.5	22.2	▲ 21.7	▲ 12.1	▲ 9.1	▲ 1.8
前期	▲ 13.3	9.1	▲ 18.2	▲ 8.1	▲ 23.8	▲ 25.0	20.0	▲ 10.3	▲ 11.8	▲ 10.5	▲ 5.0



(4) 資金繰り

(単位:DI)

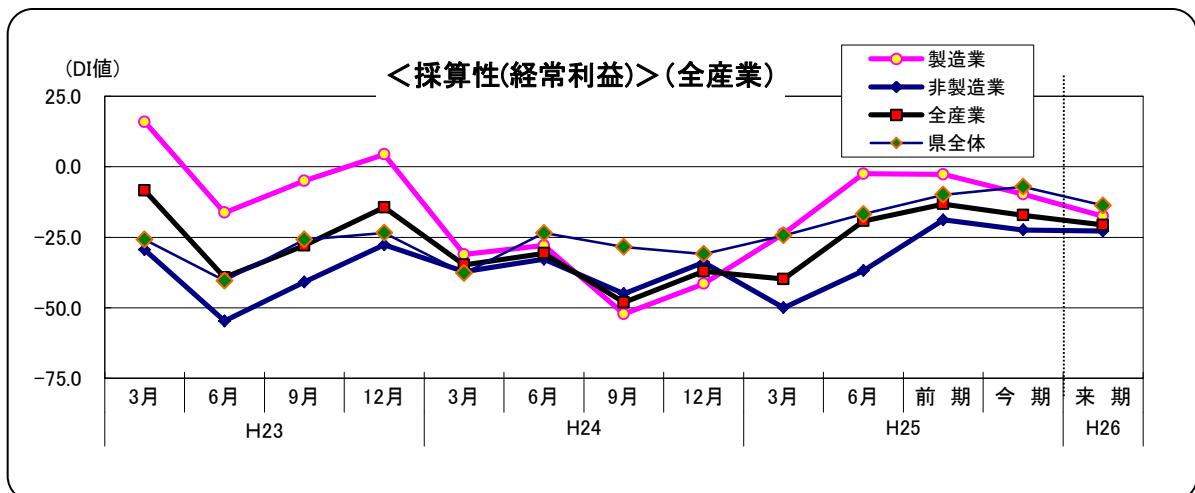
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 11.8	▲ 10.0	▲ 15.4	▲ 12.5	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 9.1	▲ 10.7	▲ 11.5	▲ 9.0
今期	▲ 11.8	▲ 9.1	7.7	▲ 4.9	5.6	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 5.2	▲ 5.1	▲ 2.8
前期	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 5.4	▲ 14.3	▲ 12.5	10.0	0.0	▲ 4.4	▲ 4.8	▲ 5.2



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 29.4	▲ 30.0	7.7	▲ 17.5	5.6	▲ 75.0	▲ 22.2	▲ 27.3	▲ 22.8	▲ 20.6	▲ 13.7
今期	▲ 11.8	0.0	▲ 15.4	▲ 9.8	0.0	▲ 75.0	▲ 11.1	▲ 26.1	▲ 22.4	▲ 17.2	▲ 7.1
前期	▲ 6.7	9.1	▲ 9.1	▲ 2.7	▲ 23.8	▲ 12.5	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 18.8	▲ 13.2	▲ 9.9

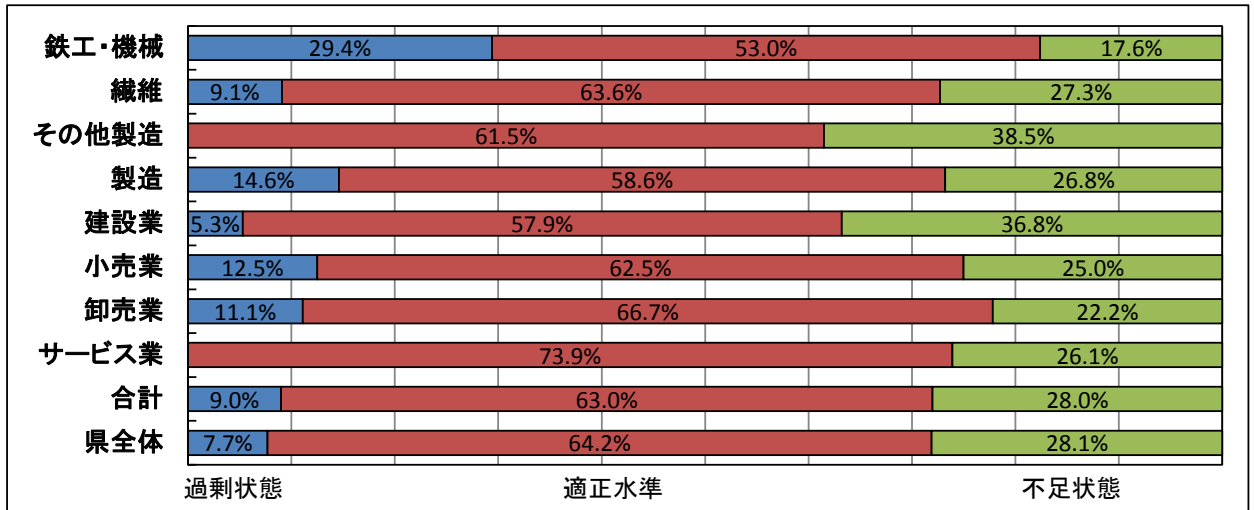




## 雇用情勢

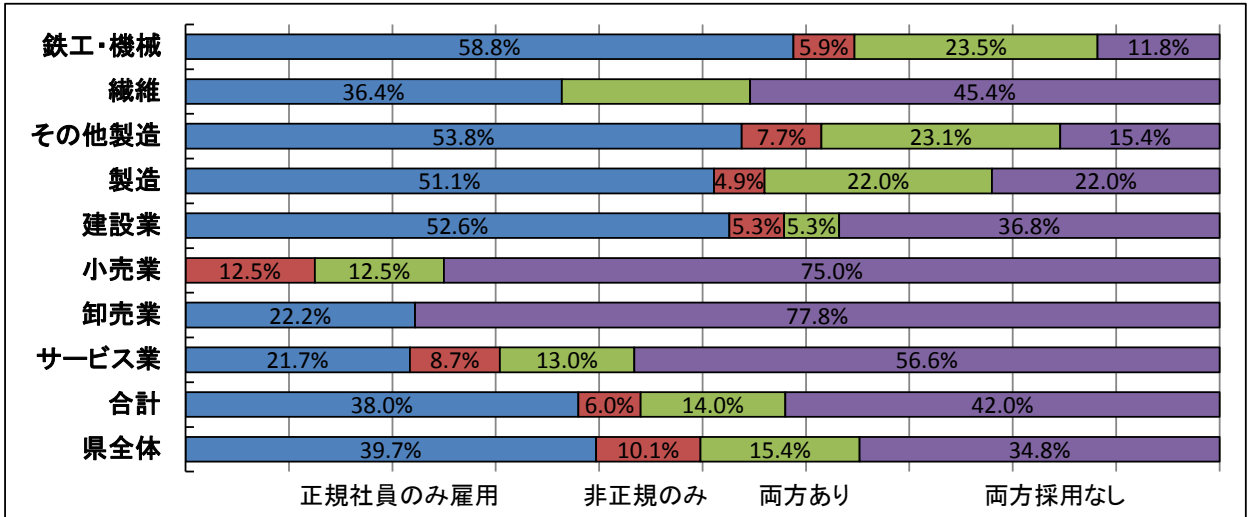
### 1. 現在の雇用状況は、どの状態にあると思われますか

	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	29.4%		53.0%		17.6%	
繊維	9.1%		63.6%		27.3%	
その他製造	0.0%		61.5%		38.5%	
製造業	14.6%	14.0%	58.6%	64.3%	26.8%	21.7%
建設業	5.3%	2.7%	57.9%	55.5%	36.8%	41.8%
小売業	12.5%	7.6%	62.5%	68.2%	25.0%	24.2%
卸売業	11.1%	6.5%	66.7%	80.4%	22.2%	13.0%
サービス業(運輸含む)	0.0%	4.7%	73.9%	63.8%	26.1%	31.5%
全体	9.0%	7.7%	63.0%	64.2%	28.0%	28.1%



### 2. 今年度(4月～)、新規雇用を行ないましたか

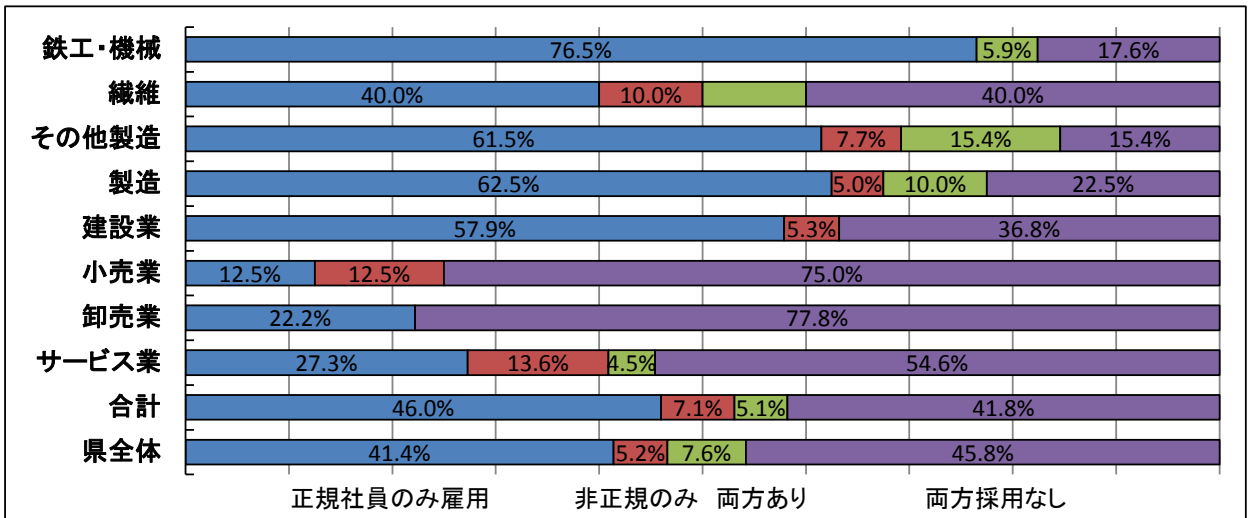
	正規社員雇用		非正規社員雇用		両方を雇用		両方の採用なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	58.8%		5.9%		23.5%		11.8%	
繊維	36.4%		0.0%		18.2%		45.4%	
その他製造	53.8%		7.7%		23.1%		15.4%	
製造業	51.1%	41.5%	4.9%	9.4%	22.0%	23.9%	22.0%	25.2%
建設業	52.6%	41.7%	5.3%	6.5%	5.3%	10.2%	36.8%	41.7%
小売業	0.0%	32.3%	12.5%	10.8%	12.5%	10.8%	75.0%	46.2%
卸売業	22.2%	52.2%	0.0%	8.7%	0.0%	6.5%	77.8%	32.6%
サービス業(運輸含む)	21.7%	35.2%	8.7%	14.1%	13.0%	14.8%	56.6%	35.9%
全体	38.0%	39.7%	6.0%	10.1%	14.0%	15.4%	42.0%	34.8%



3. H26 年度(4月)に社員の採用を予定していますか

	正規社員雇用		非正規社員雇用		両方を雇用		両方の採用なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	76.5%		0.0%		5.9%		17.6%	
繊維	40.0%		10.0%		10.0%		40.0%	
その他製造	61.5%		7.7%		15.4%		15.4%	
製造業	62.5%	50.0%	5.0%	3.8%	10.0%	9.5%	22.5%	36.7%
建設業	57.9%	43.5%	5.3%	4.6%	0.0%	1.9%	36.8%	50.0%
小売業	12.5%	30.8%	12.5%	3.1%	0.0%	6.2%	75.0%	60.0%
卸売業	22.2%	52.2%	0.0%	4.3%	0.0%	2.2%	77.8%	41.3%
サービス業(運輸含む)	27.3%	30.4%	13.6%	8.8%	4.5%	12.8%	54.6%	48.0%
全体	46.0%	41.4%	7.1%	5.2%	5.1%	7.6%	41.8%	45.8%

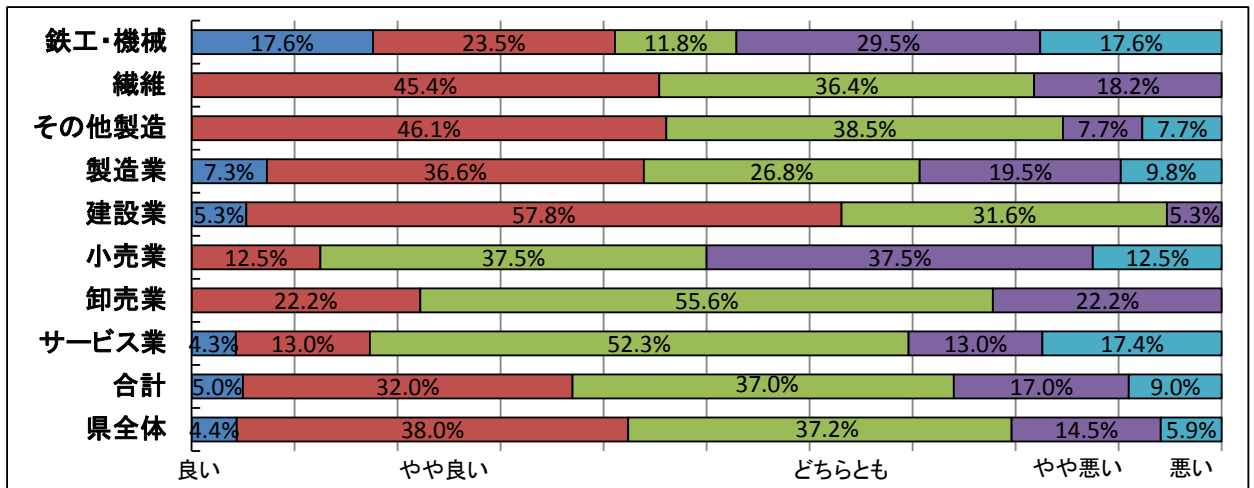
(※未定1件あり)



## 景気の現状

12月現在の景気状況は、どのあたりだと思いますか？

	良い		やや良い		どちらとも いえない		やや悪い		悪い	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	17.6%		23.5%		11.8%		29.5%		17.6%	
繊維	0.0%		45.4%		36.4%		18.2%		0.0%	
その他製造	0.0%		46.1%		38.5%		7.7%		7.7%	
製造業	7.3%	6.3%	36.6%	34.6%	26.8%	40.9%	19.5%	13.2%	9.8%	5.0%
建設業	5.3%	4.5%	57.8%	51.4%	31.6%	28.8%	5.3%	13.5%	0.0%	1.8%
小売業	0.0%	3.1%	12.5%	18.8%	37.5%	42.2%	37.5%	23.4%	12.5%	12.5%
卸売業	0.0%	2.2%	22.2%	50.0%	55.6%	32.6%	22.2%	13.0%	0.0%	2.2%
サービス業(運輸含む)	4.3%	3.2%	13.0%	36.0%	52.3%	39.2%	13.0%	12.8%	17.4%	8.8%
全体	5.0%	4.4%	32.0%	38.0%	37.0%	37.2%	17.0%	14.5%	9.0%	5.9%



## 今期(第3四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

	小松	県内	
仕入単価の上昇	39社 19.1%	20.3%	19.1%
需要の停滞、売上の減少	37社 18.1%	16.1%	18.1%
経費の増加	36社 17.6%	15.9%	17.6%
販売単価の低下・上昇難	25社 12.3%	14.2%	12.3%
大企業の進出や過当競争による競争の激化	19社 9.3%	9.1%	9.3%
従業員の確保難	17社 8.3%	11.1%	8.3%
後継者の育成・確保	16社 7.8%	7.8%	7.8%
金利負担の増加	7社 3.4%	1.8%	3.4%
事業資金の借入難	5社 2.5%	1.9%	2.5%
その他	3社 1.5%	1.9%	1.5%

Q「経営上の問題点」の各項目「①～⑩」における具体的意見

① 大企業の進出や過当競争による競争激化

会社の大きさによって、客層が固定化されていたが、過当競争により、それがくずれ、販売価格の下落が続いている
大手組織の小売の進出に伴い、流通も全国大手に集約される。取引先の小売店の弱体化と地場卸の販売先が減少している
業種の垣根がなくなった
建機の生産台数が減少する中、操業度確保のため安売り攻勢をする同業者がいる。メーカーが再編のため、物の流れが変わり、今後の受注が約束されない
同業他社との競合による単価低迷

② 仕入単価の上昇

消費税 UP による影響
円安に伴う原油高でアスファルトの値段が上がっている
原毛の高騰
原料(仕入)高の製品安が年内続くとみられる
日本は資源の乏しい国で殆ど輸入に頼っており、資源国のいうがままに、価格が吊り上がっている。国家的対策が是非必要である
景気が停滞しているのに材料が高くなってきた
仕入資材単価の上昇
円安によるデメリット
材料費値上げ分の価格転嫁がすべての先へ行われていない

③ 経費の増加

Windows XP から Windows 7 や 8 に移行するための経費や、導入している PC ソフトのバージョンアップにかかるコストが懸念される。
燃料(LPG、LNG)単価の高止まり(前年比 13%UP)
固定費を下げるのに苦境している
燃料の高騰等各種資材が値上りしているが、運賃には転嫁できない
軽油の高騰で、収益が悪化している
当社の扱う商品は鉄スクラップで需要と供給の関係が相場になっているが、現在売上単価が上昇している分仕入単価も上昇、機械等設備の修理代も増加(老朽化)
仕事はあるが工期のずれ込みのため、経費・人件費など固定費の負担が大きい
社会保険などの経費負担の割合が増加
建物の老朽化のため、修繕費の増加

④ 販売単価の低下・上昇難

鉄鋼メーカーの値上げのスピードと反面に転嫁が追いついてなく、粗利が上がらない
仕入単価は上昇、販売単価は競争、激しく低下
まだデフレ傾向にあります
価格の改善要求が強く、価格上昇できればすべてが改善されると思われる
利益がでない
円高時のコストダウン要請に対応した後の円安による材料高
円安のため、利益減

⑦ 需要の停滞、売上の減少

消費税 UP による影響
中国の景気低迷に起因した世界全体での大型建機需要の減少
受託加工を主業務としている為、業界全体の景況があがってこないと厳しい
アベノミクスに業界が乗り切っていない
業界全体の需要の低下に歯止めがかからない
取引先の動向及び関連会社の情報などによる継続的な懸念
人口停滞による売上減少(家庭風呂の普及)
円安による原材料の値上げ、国内景気低迷による価格転嫁までのズレ

⑧ 従業員の確保難

26 年 3 月卒の学卒がとれなかった
設計社員を募集しているが応募者がいない
屋外で働く社員の確保難
来年度の減産を見込んで増員難しい。目下高操業過ぎる
運転士不足

⑨ 後継者の育成・確保

生産工場(繊維)の高齢化が進み、今後生産難と思われる
技術者不足
後継者の育成必要

⑩ その他

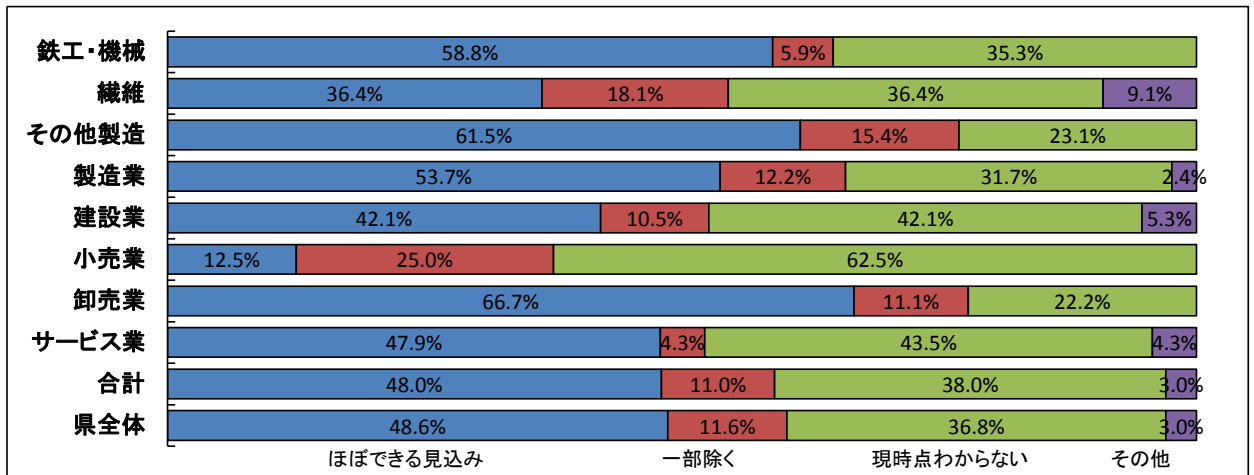
社内合理化のやりつくし感
建築職人不足による工期遅れ
労務コスト上昇、人材確保難
消費税率引上げへの対応(運賃の改定)

以下、2項目は、部外秘(内部資料として活用)

消費税増税対策について

1. 貴社において、消費税の増税分を価格転嫁できる見込みですか

	ほぼできる見込み		一部商品を除き、できる見込み		現時点では分からない		その他	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	58.8%		5.9%		35.3%		0.0%	
繊維	36.4%		18.1%		36.4%		9.1%	
その他製造	61.5%		15.4%		23.1%		0.0%	
製造業	53.7%	52.5%	12.2%	10.1%	31.7%	34.2%	2.4%	3.2%
建設業	42.1%	42.7%	10.5%	10.0%	42.1%	44.5%	5.3%	2.7%
小売業	12.5%	36.9%	25.0%	21.5%	62.5%	41.5%	0.0%	0.0%
卸売業	66.7%	63.0%	11.1%	10.9%	22.2%	21.7%	0.0%	4.3%
サービス業(運輸含む)	47.9%	49.6%	4.3%	10.1%	43.5%	36.4%	4.3%	3.9%
全体	48.0%	48.6%	11.0%	11.6%	38.0%	36.8%	3.0%	3.0%



Q「消費税増税対策」の項目における「価格転嫁見込み①②③」の具体的意見、「④その他」の意見

① ほぼできる見込み

転嫁しないと収益悪化
現在外税につき、5%から8%にするだけ
仕入は8%払い、販売は8%請求、当然のこと。
量販店直接ではないため、消費税はそのまま転嫁
建機部品をはじめとする当業界はBtoBのため、すんなりと増税分は転嫁できる

② 一部商品を除き、できる見込み

なし
----

③ 現時点では分からない

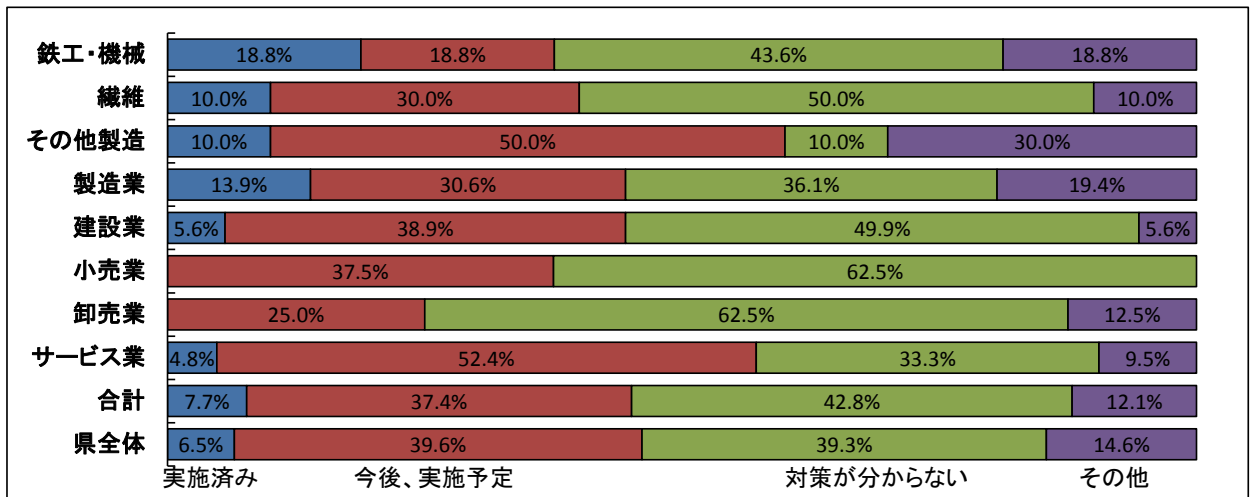
多分、国の方針に従わざる得ないが、事業は大変やり難くなってくると思う
現状のまま進むしかないのでは？

④ その他

増税前に受注した物件なので
できない

2. 価格転嫁対策以外の消費税対策を実施していますか

	実施済み		今後、実施予定		対策が分からない		その他	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	18.8%		18.8%		43.6%		18.8%	
繊維	10.0%		30.0%		50.0%		10.0%	
その他製造	10.0%		50.0%		10.0%		30.0%	
製造業	13.9%	6.1%	30.6%	37.9%	36.1%	37.1%	19.4%	18.9%
建設業	5.6%	6.1%	38.9%	38.8%	49.9%	43.9%	5.6%	11.2%
小売業	0.0%	6.3%	37.5%	42.9%	62.5%	44.4%	0.0%	6.3%
卸売業	0.0%	9.5%	25.0%	26.2%	62.5%	42.9%	12.5%	21.4%
サービス業(運輸含む)	4.8%	6.4%	52.4%	45.5%	33.3%	33.6%	9.5%	14.5%
全体	7.7%	6.5%	37.4%	39.6%	42.8%	39.3%	12.1%	14.6%



Q「消費税増税対策」の項目における「価格転嫁以外①②③」の具体的意見、「④その他」の意見

① 実施済み

工事請負契約における経過措置の適用
課長会で勉強会を実施

② 今後、実施予定

転嫁カルテル実施予定
仕入単価の再検討
精算時に別途提示する
財務会計システム、原価計算システムの更新
お客様に正確に説明する
運賃の改定、システム修正、サイン作成など
手数料における増税分の転嫁
顧客に対しては、増税分の価格修正を事前をお願いしている
取引契約書中の条文に基づき取引先宛への通知など
新サービスの投入
社内システム変更(内税、外税両用へ)

③ 対策が分からない

どういふふうにしたらよいか、まだ考えていない
発注者の意識改革

④ その他

特にしていない
コスト競争力強化は永遠課題。引続き実施していく
給与アップの据え置き等、諸経費の節約のみ
転嫁のみ
減価低減
価格を値上げしてもらわないと苦しい

■ 現在の景気全般に関して、ご意見をお聞かせ下さい。

消費税引上げ前のかけ込み受注が増加する見込みである(製造)
鈍く感じていた設備投資の消費増税前のかけ込み需要も少しできてきている分、明るい方向にある (卸売)
やや明るくなってきた(製造)
やや持ち直し(建設)
アベノミクスが少しずつ効いてきている?(製造)
アベノミクスで円安、株高が進み、景気は全般的に良いと思う。ただし、急激な円安は材料費の値上がりになるため注意が必要(製造)
円安 100円～105円を維持すれば、安定する(製造)
これ以上の円安の歯止め(輸入原材料の高騰)(製造)
来期は、年度末と消費税のかけ込みで売上は増加するが、来年4月以降が不透明で不安がある為、好況感はない(製造)
経費の高騰によって売上が少しあがっても、追いつかない。消費税を前のように外税に内税にと決めてもらった方がありがたいです。色々な事を言う業者がいて、迷っている。困ります。(小売)
中小企業の2極化が一層すすむ(製造)
景気は、業界、業種により大きなひずみがあり過ぎる(建設)
中央と地方の格差があり過ぎる。消費税がらみで一過性である。(サービス)
決してよくない。製造に関し、小零細の現況は悪化していると思われる(製造)
好況を維持してきたが、ここにきて息切れ状態、メーカーによってバラツキ大である。生産量の平準化を切望するも、下請で言い出すところが無い(製造)
仕事はあるが、単価が合わない(製造)
仕事はあるが、価格が低く、経費をカバーできない(建設)
地方まで、アベノミクスは浸透していない(サービス)
景気全般はプラスに動いていると思うが、当社の客先のグローバル化が踊り場状態の為、当社はよくない(製造)
大企業は政府の後押し政策実施等で良好な状況になってきていると思うが、地方中小企業は未だ景気が波及して来ず、又人口減少が続いて苦しい状況(サービス)
不透明、不安定、上昇に勢いが無い(製造)
消費税は上がるが、景気は回復しているか疑問である(製造)
先々予想不可(製造)
内需不振(製造)
好景気との世の中の話が全く感じられない(小売)
決していいとは思われない(サービス)
政府(地方自治体)が中心になるような、振興策を期待したい(製造)
日銀券の増刷により、円安・株高。輸出企業の採算好転。雇用増、所得増により国内消費拡大へ。そしてゆるやかなインフレへ(製造)
国外シフトによる路線の廃止・見直しなどによるマイナス要因を補うための営業活動も、取引条件なども、厳しい状況がある(サービス)
規制緩和により既得権益をなくし、中小でも新サービス参入により経済全体の活力を増加させる (サービス)
職人不足による工期、引渡しの遅れ(建設)



■ その他、ご意見などについてお聞かせ下さい。

①工業部会の徳に小松の協力企業の方々は商工会議所のメリットを感じていない
②受注開拓や販路開拓をしたらどうか
③小松市を明るく活気のある市にすべき。やるなら今でしょう
④政府も、日本商工会議所の政策への提言や要望には、よく聞き実行に移して頂きたいと思う
⑤小松市の活性化と人口を増加、町のにぎわい
⑥昼間の活性化だけでなく、夜間の活性化にも力を入れてほしい
⑦地域の文化歴史とのマッチングが必要な時になるのでは。又、地産地消の構造の開拓も
⑧商工会議所に入っている目的が解らない
⑨新規分野の参入に、ある程度のリスクマネーを保証する制度

会議所コメント：

①

会員事業所に対するサービスの向上を図り、更に充実した信頼される商工会議所を構築して参ります。

②③⑤⑥

行政の関連部署や石川県産業創出支援機構 (ISICO) 等と連携を図り、会員事業所のご要望にお応えすべく対応して参ります。

④⑦⑨

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施してまいります。

⑧

会員事業所に必要な情報収集を怠ることなく、常に時代に適し会員から必要とされる会議所を目指し、各種事業を展開して参ります。

—小松商工会議所—